

環境報告

2004年度の活動トピックス

いち早く「環境」に目を向けてきたクボタグループは、全社を挙げて継続的に環境保全活動に取り組みました。環境負荷の小さい製品への改善・開発も進み、あらゆる部門で成果を挙げています。また、地球温暖化防止についても、前倒しで目標を達成しています。2004年度の主なトピックスは、次のとおりです。

外部表彰

京葉工場が環境大臣表彰受賞

2005年4月29日、京葉工場（船橋）が、「みどりの日・自然環境功労者環境大臣表彰（いきもの環境づくりみどり部門）」を受賞しました。対象となったのは、同工場のビオトープ（野生生物が生息できる空間）、「クボタ船橋の森」です。中心となるトンボ池では、船橋市内で初めて発見された3種類を含む16種類のトンボが確認されるなど、豊かな自然環境が守られています。

ビオトープ「クボタ船橋の森」づくりが評価されました



京葉工場のビオトープ



表彰式

排水処理分野での貢献

世界最大規模の液中膜利用施設に採用されています

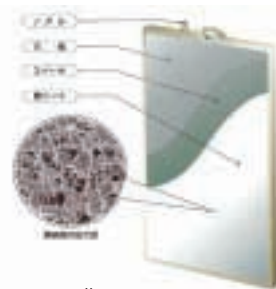
「オマーン・プロジェクト」

「液中膜」は、高度な排水処理を実現するために当社が開発した装置で、表面の無数にある小さな穴を通過したものだけが処理水となります。

中東のオマーンで、世界最大の膜利用下水処理場建設計画があり、「液中膜」の採用が内定しました。従来の方法では処理水に中東特有の寄生虫が残り、街路樹の散水には使えても、灌漑利用は不可能でしたが、「液中膜」は寄生虫をはじめ大腸菌もシャットアウトするので灌漑利用が可能となり、省スペースのメリットも認められました。



液中膜は欧米諸国でも採用されています。
写真：液中膜を採用した英国スワネジ処理場



膜カートリッジ



膜ユニット

「愛・地球博」関連の排水処理に採用

愛知県で開催されている21世紀万博「愛・地球博」は、「自然の叡智」をテーマに人と自然の新たな関係の構築を目指しています。

会場への交通手段のひとつ、リニアモーターカー東部丘陵線の「万博八草駅」に隣接するトイレの排水処理に、クボタ膜処理型合併浄化槽が採用されました。自然に優しく高効率な処理を実現しています。



万博八草駅に設置された高性能膜処理型浄化槽



リニアモーターカー・万博八草駅

放流水質	BOD	10mg/L以下
	COD	10mg/L以下
	T-N	10mg/L以下
	T-P	1mg/L以下

自然をいっくしむ膜処理型合併浄化槽が貢献しています